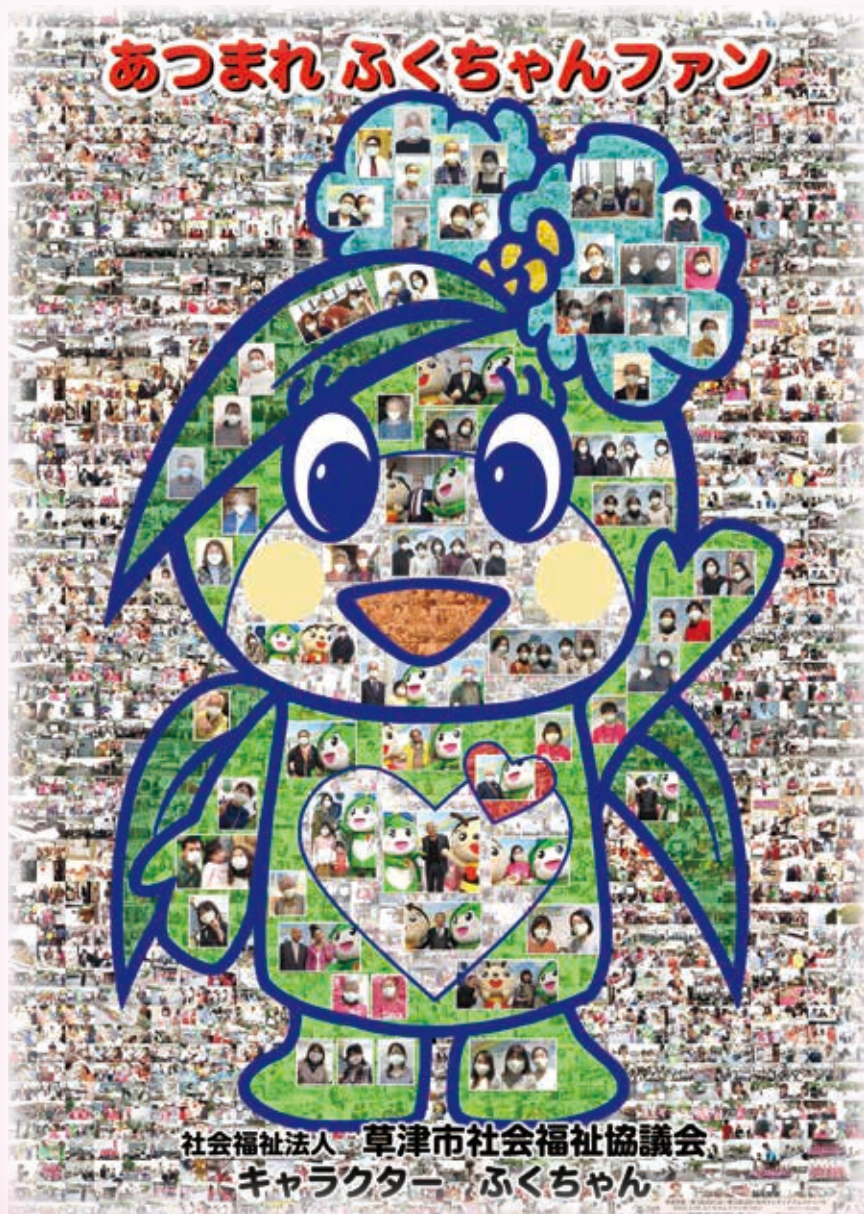


第4次 草津市地域福祉活動計画

～ダイジェスト版～



誰もが ころろ温かく 支えあい
住みつづけたい 福祉のまちづくり

令和4年4月



社会福祉法人 草津市社会福祉協議会

計画策定にあたって

第4次草津市地域福祉活動計画では、地域共生社会の実現やSDGsの目標達成をめざし、これまでの基本理念を一步進め「誰もが ころろ温かく支えあい 住みつけたい 福祉のまちづくり」としました。私たちが進める地域福祉の推進の指針となる、3つの基本目標「福祉の風土づくり」「住民主体の活動づくり」「新たな絆をつむぐまちづくり」を設定し、地域住民の抱える困りごとを見つけ、話し合い、解決に向けて、みんなが協働して取り組む仕組みを充実していくこととしています。

草津市の現状について

草津市内には14の小学校区があります。それぞれの地域によって人口動態や、駅からの距離、琵琶湖や山側に近い等の地勢状況が異なり、学区ごとに様々な特徴があります。地域福祉を進めていくためには、学区ごとの状況を踏まえた上で、取り組んでいく必要があると考えています。

◆14学区の高齢化実態◆

学区	人口	世帯	平均世帯人員	高齢化率	ひとり暮らし高齢者	65歳以上のみ世帯	平成28年との比較		
							高齢化の進展	ひとり暮らし高齢者の進展	65歳以上のみ世帯の進展
志津	13,868	5,894	2.4	17.4	318	460	1.00	1.57	1.27
志津南	6,577	2,461	2.7	21.1	138	341	1.21	2.06	1.96
草津	11,503	5,317	2.2	23.3	471	534	1.01	1.34	1.00
矢倉	9,845	4,436	2.2	23.5	304	540	1.04	1.34	1.02
大路	11,930	5,455	2.2	18.5	567	503	1.14	1.69	1.22
渋川	9,495	4,348	2.2	18.0	360	391	1.14	1.49	1.42
老上	9,873	4,512	2.2	19.5	310	407	1.01	0.93	0.70
老上西	8,680	3,335	2.6	20.8	215	349	—	—	—
玉川	12,222	6,369	1.9	19.0	354	577	1.06	1.31	1.11
南笠東	7,784	4,045	1.9	21.7	259	444	1.19	1.46	1.01
山田	7,862	3,376	2.3	30.6	318	307	1.08	1.33	1.09
笠縫	11,148	4,741	2.4	29.9	415	619	1.04	0.89	0.93
笠縫東	10,630	4,664	2.3	25.8	451	595	1.09	1.51	1.21
常盤	4,837	1,804	2.7	32.2	115	220	1.12	1.28	1.79
草津市	136,254	60,757	2.2	23.0	4,595	6,287	1.05	1.39	1.17

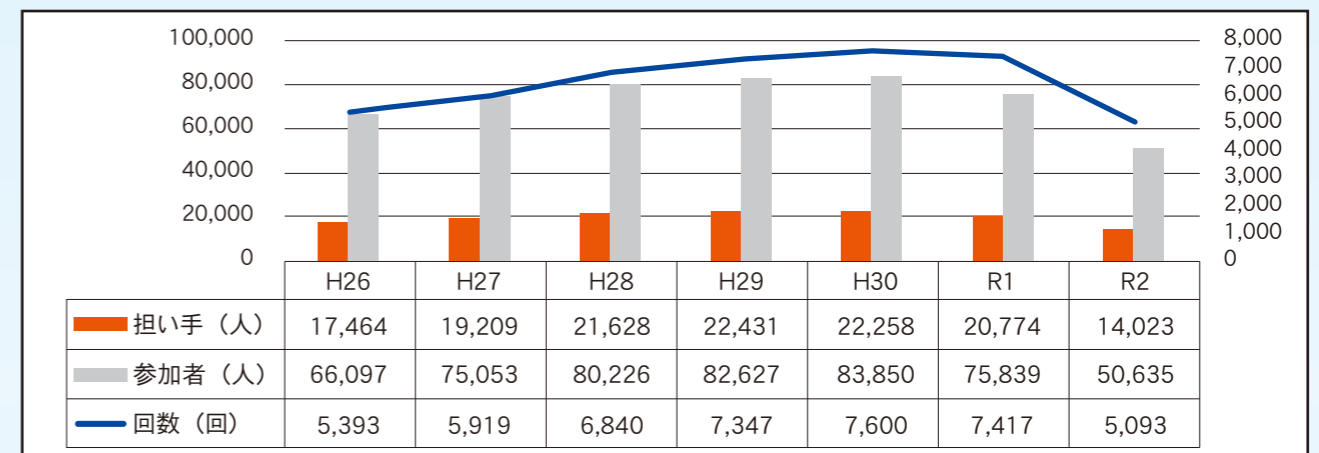
(草津市民生委員児童委員協議会 令和3年7月1日時点)

住民どうしの支えあいの広がり

草津市では、早くから取り組んできた住民福祉活動の一つに、高齢者の地域サロン活動があります。支える人、支えられる人の区別なく、自分ができる役割を担い、参加者・ボランティアがともに運営しています。また、自分たちの趣味や能力を活かして、地域で活躍する多種多様なボランティアも、住民どうしの支えあいの活動の一つです。

草津市社協では、ボランティアコーディネーターを配置し、地域で活躍されているボランティアグループや個人ボランティアへ相談・支援を行い、ボランティア活動の活性化を図っています。

◆地域サロン延べ参加者・ボランティア数および実施回数の推移◆



令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域サロンもまちづくりセンター等の貸館停止により、活動を休止せざるを得ない状態となりましたが、地域サロン応援「まごころ便」による活動に使える飲料・消毒液の提供の他、参加者と担い手をつなぐ「まごころ便」を実施するなど、これまでの「絆」を絶やさないよう支援に努めました。



地域サロンについて

◆登録ボランティアの推移◆

年度	登録ボランティアグループ数	地域サロングループ数	合計グループ数	グループ所属ボランティア人数	個人ボランティア人数	合計登録ボランティア人数	増減(人)(対前年比)
H29	175	156	331	5,000	12	5,012	—
H30	198	157	355	6,265	54	6,319	1,307
R1	200	157	357	6,372	57	6,429	110
R2	197	158	355	5,982	48	6,030	-399

ボランティア数 **6,030人**、草津市人口の **4.4%** がボランティア活動者



ボランティアセンターについて

基本理念

誰もが 心温かく支えあい 住みつづけたい 福祉のまち・くさつ

基本目標

① 福祉の風土づくり

～福祉の風土を広げ、地域のくらしの課題を他人ごととしない、地域福祉力の向上をめざします～
福祉教育や啓発活動の充実に取り組み、尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土を広げ、課題を受け止め支え合いの活動を進めます。

② 住民主体の活動づくり

～地域の困りごとを話し合い、未来に向けた人づくり・活動を考える～
くらしの課題を共有し、課題の解決に向けての地域福祉力向上を図るため、人づくりと支えあう体制づくりを進めます。

③ 新たな絆をつむぐまちづくり

～地域・分野を超えた新たなつながりづくりを考える～
いきいきと楽しく活動する場と、活動する人たちの輪を広げるため、地域や福祉という分野にとらわれず、多種多様な新たなつながりづくりを進めていきます。

I. 住民主体の福祉のまちづくり ～参加と協働の地域福祉活動の推進～

基本目標1 福祉の風土づくり

- 基本項目1 **地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発**
- 基本項目2 若い世代に福祉風土を広げる
- 基本項目3 住民どうしが互いに見守り・気にかけてあう関係を広げる

基本目標2 住民主体の活動づくり

- 基本項目1 小学校区を基盤とした地域福祉力の向上
 - 1-1 **地域福祉活動の担い手づくり**
 - 1-2 **地域で支えあう仕組みづくり**
 - 1-3 住民福祉活動計画の推進
- 基本項目2 ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり
 - 2-1 **若い世代のボランティア活動のきっかけづくり**
 - 2-2 **新たなボランティア発掘の仕組みづくり**
 - 2-3 誰もが参加できるボランティアの仕組みづくり

基本目標3 新たな絆をつむぐまちづくり

- 基本項目1 地域を超えたつながりづくり
- 基本項目2 **分野を超えたつながりづくり**

II. 市社協が取り組む福祉の基盤づくり ～地域福祉活動発展計画～

基本目標 地域で安心して暮らしつづけることのできる体制づくり

- 基本項目1 地域福祉活動支援の推進
 - 1-1 **学区社協をはじめとした地域福祉活動支援**
 - 1-2 小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携
 - 1-3 **ボランティアセンターの機能強化**
 - 1-4 企業等との連携・ネットワークの構築
- 基本項目2 個別援助活動の充実
 - 2-1 **包括的な相談体制の構築**
 - 2-2 地域福祉権利擁護事業の充実
- 基本項目3 市社協の基盤強化
 - 3-1 **地域福祉活動推進に要する財源確保**
 - 3-2 事務局体制の強化

市社協が担う事務局機能

- ◆草津市民生委員児童委員協議会事務局
- ◆滋賀県共同募金会草津市共同募金委員会事務局
- ◆日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局

地域の特徴を活かした福祉活動の展開

『人と人のつながり=きずな』を大切にする常盤 (常盤学区社協)

私たちは、お互いが尊重しあう「互助」の気持ちを日々の様々な場面で高め、つながり続けることで、人生の最後まで常盤でいきいきと暮らせる事を活動基本方針に、『福祉醸成』と『健康づくり』の両輪づくりに取り組んでいます。

誰もがいきいきと暮らせるまち (笠縫学区社協)

市内でも三番目に高齢化が進む笠縫学区では、「おでかけ ふれ愛 模擬体験事業」を実施しています。コロナ禍であっても失敗を恐れず、その時々にあった活動をする事が、積極的に福祉活動をするきっかけづくりとなっています。

また、老人クラブの協力を得ながら、小学校の児童とグラウンドゴルフを通じて交流を深め、子どもと高齢者の接する機会づくりに取り組んでいます。

ひろがれ やまだの和・輪・話 ~ひとと人のつながりを求めて~ (山田学区社協)

山田学区では、「ふれあいカフェ (やまだカフェ)」をはじめました。このカフェでは、子どもから高齢者までだれもが気軽に集まれる場所になっており、高齢者の居場所づくりや介護予防、多世代交流の場として地域の輪が広がっています。

また、地域支え合い運送支援事業は、ボランティアのメンバーは、「こんなに楽しい活動が出来てグループに入って良かった」と生き生きと活動されています。これからも、ボランティア活動のすばらしさを伝え、さらに盛んになるように進めていきたいと思います。

さそいあい かたりあい ささえあい (老上学区社協)

平成28年度に老上学区、老上西学区に分離して7年になりますが「オール老上」としてお互いに協力、助け合いながら事業活動を続けています。まちづくりセンターを拠点に、居場所、交流場所、ふれあいの場所として活動の発進を行っています。

昨日から学び、今日を生き、明日へ期待しよう。(老上西学区社協)

ボランティアグループ【助け合い隊「ママの手」】を立上げ、各種団体の枠を超え、互いに協力し合いながら「おいにいずカフェ」を毎月1回開催、地域食堂「ニコニコ食堂」を春・夏・冬の長期休みに合わせて開催するなど地域社会とのかかわりも充実させています。今後も学区まちづくり協議会と力を合わせ、それぞれのできる力を出し合いながら、「安心して暮らせるまちづくり」を実現していきます。

支えあい 笑顔あふれるまち南笠東 (南笠東学区社協)

南笠東学区には立命館大学等の学生マンションが多くあることから、「若い学区」だとみられることが多いですが、実際は、市内でも2番目に速いスピードで高齢化が進行しています。南笠東学区住民福祉活動計画2022を活動の柱として、学区一丸となって住民の「心のつながりをつむぐ」地域福祉活動をより一層進めていきます。

健康で心豊かに 長生きできるまち笠縫東 (笠縫東学区社協)

笠縫東学区では、現在9つのボランティアグループ(ほのぼのサークル)が活動中です。幅広い年代の人々が福祉活動に参加するきっかけや情報交換の場とすると共に、現在開催している「ほのぼのサークル」や「ふれあいサロン」を幅広く多くの人々に知っていただき、より一層住民同士の交流が進むよう地域の特性や実情にあった場づくり、機会づくりを進めることが大切だと感じています。

「住みよいまち」から「暮らしやすいまち」へ (渋川学区社協)

渋川学区社協は、第二次住民福祉活動計画において「支えあい助け合って、暮らしやすい渋川へ」をスローガンに、交通至便・買物便利な住みよい渋川に「住民力」がプラスされた「暮らしやすいまち」をめざしています。

困った時に「助けて」が言える地域づくり (草津学区社協)

令和3年11月から「つながりサポート・レディースカフェ」を始めました。終息の見えないコロナ禍で孤立・孤独・貧困などに不安を抱える女性を応援しています。

学区社協活動拠点である「立ち寄りカフェゆかい家」は、「誰もが、ゆかい家に来れば、誰かとつながることができる居場所」として、困った時に「助けて」が言える地域づくりを広げていきたいです。

誰一人取り残さない地域づくり (大路学区社協)

「誰一人取り残さない地域づくり」を合い言葉に、今まで地域活動への参加が少なく、なかなか支援が届かない方々に対して支援が届くように、年間を通して食料支援活動を実施しています。

また、新しい住民の方々が参加しやすい活動やイベントについて積極的に支援を行うことで、住民同士の新しい絆ができるよう取り組んでいます。

向こう三軒両隣り、支え合う心を育む (矢倉学区社協)

「みんなで支え合う、まちづくり」を第一の柱として取り組んでおり、地域の人たちが気軽に集える場所として「ふれあい喫茶・憩」を各町内会で立ち上げることにしました。「ふれあい喫茶・憩」は、老若男女を問わず、多くの人たちの交流の場となっています。

楽しく心豊かに暮らせる地域を目指して (志津南学区社協)

ボランティアの高齢化や学区社協で実施している送迎支援の利用者の固定等課題もありますが、学区社協活動拠点ふれあいハウス「絆」は、これからもどなたでも気軽に立ち寄れる場所として、さらに地域の力になっていけるよう取り組んでいきます。

人と人をつなぐ・人と人がつながる活動 (玉川学区社協)

地域の一人ひとりが安全に安心して暮らすことのできる地域を目指し、高齢者ふれあいサロンの開催や子育て世代への支援、福祉セミナーや医療福祉を考える会議など「人と人をつなぐ・人と人がつながる活動の推進」を進めています。

解決型組織で志津を 住み続けたいまちへ！ (志津社協)

令和3年よりスタートしたまちづくりセンターでの「ぶらっと茶屋(カフェ)」をはじめ、「ふれあい支え合い住み続けたいまち」を理念として、今後、「志津まちづくり協議会」と地域課題を共有し、連携して志津の福祉的課題を解決していく課題解決型組織としていきたいです。



変化をとらえるからこそ、変わらず**大切**にし続ける



第1次草津市地域福祉活動計画 (平成19年度～平成23年度)

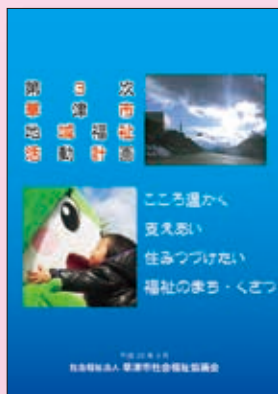
- ★草津市の現状分析
- ★市社会福祉協議会の事業評価
- ★学区社会福祉協議会ヒアリング
- ★地域福祉懇談会
- ★関係団体・機関ヒアリング

市社会福祉協議会自身の事業や活動の基盤強化

第2次草津市地域福祉活動計画 (平成24年度～平成28年度)

- ★草津市の現状分析
- ★市社会福祉協議会の事業評価
- ★主な事例の検証
- ★第1次計画の検証
- ★地域福祉推進における「公民協働」と「民民連携」

「市民」が主語の計画に



第3次草津市地域福祉活動計画 (平成29年度～平成33年度)

- ★市域・学区のデータ
- ★学区社会福祉協議会懇談会
- ★分野別聞き取りアンケート
- ★第2次計画の検証

時代に応じた地域福祉活動の支援強化 市社会福祉協議会事業の3本柱の明確化

第4次草津市地域福祉活動計画 (令和4年度～令和8年度)

- ★市域・学区のデータ
- ★市内社会福祉法人地域福祉アンケート
- ★第3次計画の検証
- ★市社会福祉協議会の事業評価
- ★「全ての住民にとって」住みつづけたい福祉のまち・くさつをめざす

地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発 地域や分野を超えたつながりづくり



社会福祉法人 草津市社会福祉協議会

〒525-0032 草津市大路2丁目1-35 (キラリエ草津4階)
電話：077-562-0084 FAX：077-566-0377
ホームページ：www.kusa-shakyo.or.jp



HPトップページ



地域福祉活動計画



草津市社協キャラクター
ふくちゃん

※ダイジェスト版および本編は上記アドレスから閲覧できます
※データの使用については、草津市社会福祉協議会までお問い合わせください